

物流に関する一貫したサポート体制の構築 自動荷役システム開発による業務効率化

1951年設立の総合物流企業で「安全第一主義」を理念とし、東日本に11拠点（総面積22,000坪）、291台の車両を保有し、事業展開を行っている。国内輸送、倉庫保管、梱包、人材派遣に加え、都心から100kmの内陸港として国際物流にも対応。利便性向上やリードタイム短縮により、顧客の物流コスト削減に貢献している。産官学金連携によるIoT技術を活用した「荷役自動化システムサービス」の開発・普及を進め、中小物流業の成長に貢献していく。

- | | | | |
|----------|---|--------|----------|
| ● 所在地 | 群馬県安中市原市432番地 | ● 設立 | 1951年 |
| ● 電話/FAX | 027-382-3333/027-382-4792 | ● 資本金 | 13,950万円 |
| ● URL | http://www.vortex.gr.jp/ | ● 従業員数 | 491人 |
| ● 代表者 | 代表取締役社長 武井 宏 | | |



自動荷役システム販売による中小企業の省人物流管理の具体化

既存倉庫でも導入できるIoT技術を活用した「無人フォークリフトを活用した自動荷役システム」を開発。この事業は慢性的に人が集まりにくい倉庫業務で、トラックへの荷積み、荷卸し以外の入出庫業務を、無人フォークリフトにより24時間稼働も可能にするシステムである。既存倉庫業務の生産性を高めつつ省人化の推進が可能で、導入事業者のコスト低減化も実現。更に倉庫の在庫状態に最適な入出庫導線を抽出し、荷役業務効率化も実現。導入による投資回収もスムーズに実現できる事業である。



既存倉庫でも自動荷役業務を最効率に実現

血圧測定IT点呼システムにて運転手が長く活躍できる仕組み

血圧・アルコール検知機能付IT点呼システムを自社開発。遠隔地の運転者の健康状態やアルコールチェックを本社からのオンライン確認を可能にし、現場の負担軽減及び全社ベースでの管理基準の統一化を図った。更に、点呼毎のバイタルデータと個人の健康診断結果を反映した遠隔健康指導システムを用いて、保健師による個別健康指導を実施し、再検率100%を達成。従業員が長く活躍できる職場環境整えることで、業務効率向上を実現。2019年2月には、経済産業省より健康経営優良法人の認定を頂いた。



血圧も体温も測れるIT点呼システム

地域密着企業として多様な分野での地元への社会貢献を実現

子ども子育て新支援制度・全国認定第一号となる認可保育園の事業所内開設など、多様な人材が活躍できる環境を整備。地元高等学校、大学への出前講座の実施や毎年の定期的な新卒者の採用など、人材不足の解消策や地元の雇用創出策を講じている。更に、環境美化活動として社員による国道清掃、無事故及び環境に優しい事業運営によりGマーク、グリーン経営の認証を取得。また、災害発生時に公用車への給油協力をするなどCSR経営を実践している。



女性が快適に働くためのうずまき保育園